

# 山行報告書

京都田辺山友会

報告者 広瀬秀憲

山名	屯鶴峯から二上山	山行名	ダイヤモンドトレイル起点
ルート	関屋駅→屯鶴峯→二上山雌岳→岩屋→竹内峠→平石峠→磐城駅		
山行日	2014年12月21日(日)	天候	晴れ後曇り
参加者	リーダー：広瀬                                  サブリーダー：若林 男性：10名 赤松、秋月、梅澤、坂部、佐坂、中田、西川、守口、園上、中廣 女性：2名 伊藤、河野 合計：14名		

ルート概略図	コースタイム					
	地名		時:分	地名		時:分
	関屋駅	集	8:00	竹内峠	着	13:05
		発	8:10		発	
	屯鶴峯	着	9:00	平石峠	着	14:10
		発	9:50		発	
	トレイル北入り口	着	10:05	綿弓家	着	15:00
		発			発	15:10
	馬の背	着	11:40	磐城駅	着	15:25
		発			発	
	二上山雌岳	着	11:50		着	
		発	12:25		発	

## 山行報告

前日の雨も上がり、少し肌寒いが、今年最後の例会においてとうさまも味方してくれたようだ。8時に関屋駅に集合し、屯鶴峯に向かう。屯鶴峯入り口で「ダイヤモンドトレイルの起点石」を見つける（下見の時には見つけられなかった。参加者から起点石はどこにあるのかと聞かれていたので一安心）。二上山が昔火山であった名残であり、永年の間に浸食された奇岩群に見とれる。体操を含み1時間ほど費やし、ダイヤモンドトレイル初回を歩みはじめる。トレイル北入り口から二上山雌岳までは、階段が多く、上ってはその分下ることの繰り返し。かなり体力を消耗する。第1鉄塔を下りきったところから二上山の上りに取りついたようで、次第に高度を上げ展望台、馬の背、二上山雌岳頂上に到着。昼過ぎより曇りだし寒くなる。早々に二上山を出発。竹内峠、平石峠に向かうが、竹内峠過ぎたあたりで、足に異変を訴える人がでる。ここから平石峠はかなり厳しいため、心配したが皆さんの協力もあり、無事平石峠に14時過ぎに到着。ここからは下るのみ。一般道に出すぐ旧竹内集落の町並みに入る。途中松尾芭蕉が宿泊したという綿弓家を見学。即興で俳句を詠み応募されたかたもあり、多趣味をうらやましく思う。無事15時25分に磐城駅に到着。山行案内で歩行時間を5時間としていましたことを反省します。所要時間は結果7時間でした。

## ヒヤリハット

なし

## 屯鶴峯⇒二上山ウオーク感想文



12月21日(日)昨夜からの雨も上がり寒波の予想も日中は陽も差し込み絶好のウオーク日和になった。朝8時過ぎ近鉄関屋駅にて合流(13名)ダイヤモンドトレールのスタート地点目指し出発。屯鶴峯の入口にダイヤモンドトレールスタート地点であるとの碑あり感動 新たな勉強に成ったが 屯鶴峯は二上山の火山活動にて火山岩屑が沈積 1500万年間の風化浸食を経て奇岩群となった奈良県の天然記念物で有る事が分かり屯鶴峯の命名も遠くから眺めると杉材に多くの鶴が屯している様に見える事から屯鶴峯と命名。

こんなに身近な所に奇岩群を観る事が出来たのは自分自身の新たな知識と新たな発見場所と成った。屯鶴峯を見学した後二上山へ 近鉄電車の車窓にて眺める二上山は小高い丘程度と理解していたがいざ登り始めると起伏の激しさに甘い考えを払拭して行動する事に成った。整備された階段の多さには少し抵抗感あり 12時前には山頂にて昼食 温かいコーヒーには毎度 感謝 感謝 今回のウオークコースは歴史(万葉集に歌われている)のあるコースで 話題も歴史の話が多く出て皆さんの知識の広さを改めて知る事にもなった。

下山時日本最古の官道である竹内街道(河内と大和結ぶ街道 堺から竹内峠を越えて奈良県富寺麻迄の道)を歩き面影を今も残している街道を楽しみながら磐城駅に15時過ぎ到着 ヒヤリハットも無く全員無事に元気に帰宅の途に就いた。夏場と違い駅前の酒屋も何か暇な感覚を受けた。お疲れ様でした。

若林憲治

久しぶりの山行で少々疲れましたが、天候に恵まれ何とも気持ち良い山行でした。

有難う御座いました。 中廣



## 『屯鶴峯から二上山』山行感想文

前日 CL の広瀬さんから『凍ってる箇所がありそうなのでアイゼンを持ってくるように！！』との電話もあり、真冬並みに着込んで我が家を出発。8:05 関屋駅到着時には着込みすぎたかな??とは思いつつもそのまま山行開始。ダイヤモンドトレール起点の屯鶴峯入り口に着くとすぐにも服を着替える事に!! 天気予報を上回る好天の上、温ったかくて、得したような気分にも!! その入口付近からでも屯鶴峯の謂れらしきものが感じられる、山肌の色合いや様相に納得するとともに、むき出しの凝灰岩が、前日の雨で更に滑りやすくなっていて、足元を取られはしないかとの恐怖心を抱きつつ、屯鶴峯を周回。馬の背を經由し二上山雌岳頂上で昼食。午前中とは違って風が少し冷たくなってきた上に、雲が低く垂れ下がって、眺望を楽しむのも早々に、岩屋に向かう。平石峠辺りでは寒さも増し、冬空のもとでの山行に変わる。綿久塚を経て、午後3時半頃磐城駅に到着!! 電車内では、駅前の自販機で購入した缶酎ハイを片手に、なぜか寂しい『一人反省会』!!

二上山は階段の登り下りが多い山と覚悟はしていたが、全行程のほとんどが階段ばかりで 30,000 歩の、ちょっときつめの今年の『おさめ』の山行となった。

市民秋山登山以降、5回例会に参加していたが、今回も又、午後になると『もうあと1分の休憩が欲しいなあ!!』と思いつつ下山となり、『体力がなくなってるんだあ!!来年はさらに山を選ばないかんのか!!』と反省の連続です。

CLの広瀬さん、SLの若林さん、今年最後の楽しい山行を有難うございました。

西川 榮治

### ダイヤモンドトレイル 屯鶴峯から二上山 感想

ダイヤモンドトレイルに参加して、今年最後の山行。

ダイヤモンドトレイルとしては起点からの一部を歩くスタート時点、来年以降続きの山行が有れば終点に向け完全制覇を目指したい。

そして今年を振り返り、7月の御在所岳参加から市民秋山トレ・大江山・曾爾高原・金勝アルプス・平安杉を訪ねてと今回のダイトレ、11月のアイゼントレは、直前に行けなくなり計7回の山行参加に加え、12月の写真展にも初出品。

来年は、今年以上の参加と少し意識してシャッターを押したい。

坂部 (会員番号 179)

「屯鶴峯から二上山」に参加して

2014年は山行に耐える程に体調が十分で無く、夏山にも行けなかった。

「さあ一行くぞ!」市民秋山には出かけたものの、残念な事に登頂は出来なかった。交流部の行事に時間を取られた事もあるが、少々心残りな一年になった。

かくして一年が過ぎ去ろうとする時、漸く年末最後の山行に参加する事が出来、「終わり良ければ全て良し。」と云った気分が無事一年を終える事が出来ました。

二上山には何度か今までに行ってますが、屯鶴峯は名前は知っていたものの行くのは初めて、ち



よっとわくわく気分、久しぶりの山行に加え気分も自然に高揚しました。

この時期の衣服、少々悩みましたね。最高気温は?風は?天気は?余分なものは持って行きたくないし、と云って寒かったら折角の山行は台無し、最後はエイヤーと決めたのでした。

天気は最高、暑くも無く寒くも無く風も無く、気分良く歩く事が出来ました。

屯鶴峯は鶴が屯する景観を期待していたが、今ひとつその感は無かった。それよりも隆起した地層が人工的に作られた程に見事に見えた事に感動

した。

二上山までは階段のアップダウンの連続で少々辟易しましたが、久しぶりの山行であったにも拘らず、体力が余り落ちて無い事に少し安堵した。私にとってはいいバロメーターになりました。聖徳太子を始め、芭蕉、吉田松陰も通ったと云う竹内峠、竹内街道。古に思いを馳せるロマンも感じる事が出来た。大阪~奈良を結ぶ古くからの官道でもあったようだ。

全行程凡そ15km余り、積算高度は私の感では700~800mはあったのではなかろうか?CLが山行案内に体力度を★★としていたのがよく理解出来ました。そして何とも気持ち良い2014年最後のハイキングとなりました。

帰途のお酒も美味しかったし、CL・SL始め同行の皆さん、有難う御座いました。(中廣)